

瞳を輝かせて
Brilliant Eyes

支えてくれた人たちに感謝

三好町から初めて中学生で国体(秋田わか杉国体カヌー競技)に出場

山下 友理子さん(三好丘緑)

9月29日から10月9日まで、秋田県で開催された第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」。

今回は、三好町から初めて中学生で、国体のカヌー競技フラットウォーターレーシング(FWR)に選手として出場した山下友理子さんを紹介します。国体の出場資格が中学3年生以上に拡大されたのは昨年。山下さんは今年5月、三好池で行われた国体出場選手の選考予選会に出場し、トツブタイムの好成績で候補選手に選ばれました。その後、同じく候補選手に選ばれた岡崎市新香山(しんかみやま)学校3年生の城殿弘華さんとペアを組んで国体出場を目指すことになりました。そして7月の東海ブロック大会で、岐阜県代表を破って国体出場権を獲得。「絶対に国体に出場したいと思っていた



▶▶▶プロフィール

やました・ゆりこ 平成4年生まれ。北中学校3年生。中学2年生の後期に生徒会の書記、3年生の前期には生徒会副会長・カヌー一部副キャプテンを務めた。趣味はスポーツと音楽鑑賞。宝物は国体前にカヌー一部の友人が作ってくれたマスコット人形とクラスメートが寄せ書きしてくれたバッグ。



▶秋田わか杉国体に出場した山下・城殿の中学生ペア(前が山下さん)

ので、接戦でしたが勝つことができました。うれしかったです」と振り返ります。

中学生になって何か新しいことに挑戦したいとカヌー部に入部した山下さん。練習では「つらくなったときにこそ、もうひと頑張りする」とが一番自分に力を付ける」ということを常に心掛けて、最後まであきらめずに取り組んできました。カヌーに乗る機会が少なくなる冬場は、小学校4年生から通っている三好スイミングアカデミーのトライアスロンクラブで体力強化にも努めてきました。中学生生活最後の今年、学校で生徒会副会長を務めていた山下さん。学校行事などの準備が忙しく、部活動でカヌーに乗る時間もなかなか取れませんでした。そこで三好カヌークラブの練習に参加させてもらいながら、7月に地元で開催された全国中学生カヌー大会と9月の国体に向けて頑張ってきました。

今回の国体のカヌー競技(FWR)少年女子カヤックペアWK-2出場者のうち、中学生ペアは山下・城殿ペアのみ。200m、500mとも準決勝敗退というほろ苦い結果でした。「これまで頑張れたのも、中学校の先生や友達、三好カヌークラブの新海芳浩(しんかいよしひろ)コーチをはじめ先輩たち、三好スイミングアカデミーの先生たち、いつも励ましてくれた家族など、いろいろな人たちの支えがあったからだと思います。決勝に勝ち残って感謝の気持ちを伝えたかったんですが」と悔しさをにじませます。「来年は三好カヌークラブの先輩たちと同じ高校に入学してまた国体に出場し、今回の雪辱を果たしたいです」と力強く今後の抱負を話してくれました。

おめでとう
おたんじょうび
11月

「車が大好き」

ミニカーで遊ぶことに夢中なとうくん。「ハチロク」「FD」「ランエボ」パパに教えてもらった車の名前をいつばい覚えてたんだよ。大好きな弟の慧(けい)ちゃんに「ごはんを食べさせてあげる、面倒見のいいとうくんに」健康で、優しい子になってね」とお母さん。

谷口 柁真くん(三好丘)

父・健さん 母・雅美さん

平成16年11月8日生



「お味噌汁はおまかせ」

外で遊ぶのが好きなあいちゃん。お気に入りのアンパンマンの自転車でお味噌汁を作るときにとうふを切ったり、味噌を溶いたりするお手伝いができるあいちゃんに「人の気持ちの分かる、優しい子になってね」とお母さん。

小野田 愛叶ちゃん(打越)

父・裕之さん 母・市枝さん

平成16年11月11日生



出場者募集

- ▼【1月のお誕生日コーナー】
- ▼応募期間 12月3日から5日まで
- ▼対象 1月生まれで3歳未満の子
- ▼応募方法 秘書広報課へ電話 ☎(32)83357
- ※11月生まれの応募は、11人でした。(抽選により掲載決定)

広報クイズ

問左のように重なっている4つの文字を、並べるとあることばになります。さて何でしょうか。(ヒント=スポーツ、芸術、読書。この時季はいろいろな楽しみ方がありますが、中でも欠かせないのがこれ。)



【応募方法】①答え(例 満月の夜)②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき：〒470-0295

三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)

ファクス：☎(34)60008

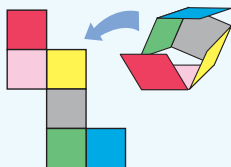
電子メール：✉nisyokoh@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】11月12日(月)必着

【10月号の正解と当選者(先月の繰越2人分を含む)】

答え：②番(全36通正解34通)

岩谷泉、岡部雅啓、柴本珠美、杉村舞、鈴木竜、滝有司、寺岡千恵子、中川正子、野中沙織、宮本純子、柳一郎、吉川重孝(敬称略)



※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。



お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。



さまざまな体験から学ぶ

総合福祉フェスタ・MIAフェスタ2007

保健・医療・福祉・生きがい
を一体とした総合福祉を推進し
ようと9月29日、三好町社会福
祉大会・総合福祉フェスタ「さ
さえ愛みよし」が、MIAフェ
スタ2007と合わせてサンア
ートで開催されました。車いす
や点字の体験、健康チェックコ
ーナー、国際交流団体の活動紹
介などさまざまなイベントが行
われたこの催し。町民参加によ
るふれあいコンサートも開かれ、
訪れた人は福祉や健康、国際交
流への関心を高めていました。



助け合いのところでご協力を

赤い羽根共同募金街頭活動

赤い羽根共同募金運動が10月
1日から12月31日までの3カ月
間にわたり、全国一斉に展開さ
れます。10月1日には街頭募金
運動が松坂屋ストア三好店など
町内7カ所で行われました。久
野知英町長はじめ三好町共同募
金委員が、ポケットティッシュ
やばんそうこうなどPR用資材
を手渡しながら募金を呼び掛け
多くの皆さんから温かい善意を
いただきました。集められた大
切な募金は、地域福祉の推進の
ために役立てられます。



はつらつと演技を発表

第27回三好町老人芸能大会

芸能の発表を通して互いに交
流を深めてもらうと第27回三
好町老人芸能大会が10月11日、
サンアートで行われました。老
人クラブ会員160人が歌謡や
舞踊、詩吟など日ごろ練習して
きた成果を披露。はつらつとし
た発表に、訪れたおおよそ700
人から盛んに拍手や歓声が送ら
れていました。グループで踊り
を発表した男性は「頑張って練
習を重ねてきて、今日はみんな
で楽しむことができました」と
笑顔でいっぱいでした。



すてきな音楽から学ぶ交通安全

愛知県警察音楽隊コンサート(緑丘小学校)

愛知県警察音楽隊によるコンサートが10月5日、緑丘小学校で開催されました。音楽を通して交通安全について学んでもらおうとPTAの主催で行われたこの催し。全校児童と保護者およそ1,100人は、迫力のある演奏と華麗なバトン演技に引き付けられていました。またコンサートの合間には楽器の紹介や交通マナーに関する講話を実施。音楽を楽しみながら交通安全に対する意識を高めていました。



笑って気分リフレッシュ

春風亭小朝落語独演会

テレビなどで人気の落語家春風亭小朝さんによる落語独演会が10月3日、サンアートで開催されました。笑いあふれるひとときを楽しんでもらおうと三好町の自主事業として行われたこの催し。およそ830人が詰めかけた会場は話題の時事問題や政治問題を交えながらの愉快で軽快な落語に、最後まで笑いが絶えませんでした。女性の一人は「とても面白く、たくさん笑ってリフレッシュできました」と満足そうでした。



大勢で楽しく食事

元気になる食事会

町内の一人暮らしのお年寄りが互いに親睦を深めるきっかけにしようとして10月12日、元気になる食事会がサンアートで行われました。今年で23回目となる今回は97人が参加。会話を楽しみながら食事に舌鼓を打ちました。またアトラクションでは、三好町商工会女性部の皆さんがピンコロ体操を、千種マジック愛好会の皆さんがマジックショーを披露。参加者は手拍子をしたり輪になって一緒に踊ったりして盛り上がりっていました。

